

1 日文研及び本セミナーの趣旨について

河 合 隼 雄

国際日本文化研究センターは、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究並びに世界の日本研究者に対する研究協力を目的として、1972年（昭和62年）5月に文部省大学共同利用機関として設置され、以来8年が経過いたしました。

この間、日本文化を国際的な視野にたつて学際的・総合的に研究するとともに世界の日本研究者に対する研究情報の提供等の研究協力を行うために、スタッフはもとより施設・設備の充実を図ってまいりました。

現在、わが国や海外において、さまざまな専門分野のすぐれた日本研究が数多く蓄積されています。当センターでは、諸分野におけるこれらの着実な日本研究の成果を土台にして、日本文化の諸相を歴史的深みと世界的広がりのもとに明らかにし、人文科学・社会科学・自然科学などの専門諸学の研究成果を、日本文化の幅広い認識にまで拡大するとともに、芸術などの高度な精神活動の所産だけでなく、複雑に絡みあった生活様式・社会制度・価値観などの全体を研究対象とすることによって、諸分野の横断的な研究を進めてきています。そして、これらの研究には、共同研究会の場を通じ多くの外国人研究員が加わり、活力ある研究活動を展開しております。

さらに、当センターでは、これらの多様な研究活動を支援するために、機関として組織的・体系的な研究協力を行っています。特に日本研究に必要な情報の確保をめざし、外国語で書かれた日本研究文献を網羅的に収集するとともに、世界各国の書誌情報をはじめ、世界の日本研究者、日本研究機関に関する情報等の提供を行うため、コンピュータを導入しデータベースを構築しております。

以上お話し申しあげましたことが、国際日本文化研究センターの活動の概略ですが、国際日本文化研究センターは、この研究活動・研究協力活動をさらに発展させるために、今後、海外で研究活動・研究協力活動を行ってゆくことを企画いたしました。その第一回目を皆様ご承知のとおり、お国の北京大学の御援助を得まして、北京大学との共催のかたちで「日本研究日中共同セミナー」を本日4日から7日まで開催いたします。国際日本文化研究センターといたしましては、第二回目をトルコと、第三回目を欧米のいずれかの国で行うことを構想しています。

さて、この第一回目の「日本研究日中共同セミナー」の主テーマであります近代化とは、19世紀半ば（アヘン戦争）から日清・日露戦争をへて、辛亥革命（1911年）あたりまでです。西欧列強の強大な圧力のもとに東アジア諸国（中国・日本・朝鮮）に急激な政治的社会的文化的変化が生じましたが、その過程をいいます。その衝撃と影響のもとに各国、各分野の指導者たちはいかにこれに対処し、いかなる自己変革を企て、遂行しようとしたか。この問題をなるべく個別的な人物あるいはグループについて研究し、具体的事例をあげて報告し、東アジア各国間の歴史的連関・文化的比較への考察を討議によって深めようとするのが、このセミナーの目的であります。

また、もう一つの目的としまして、お国の若手の研究者の方々に広く聴講を求め、国際日本文化研究センターの研究活動・協力活動を広報し、お国における日本研究者のすそ野を広げるのに役立つことができれば有難いと思っております。

ただいまから開催いたしますこのセミナーが、国際日本文化研究センターにとっても、北京

大学にとりまして、稔り多いものにならんことを祈念してやみません。

1995年12月4日

国際日本文化研究センター所長 河合隼雄